

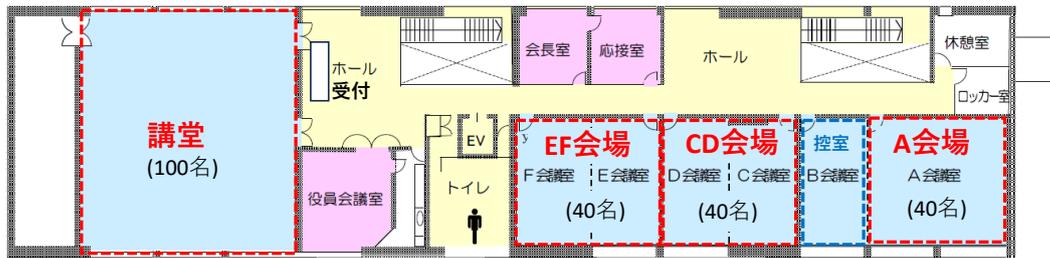
2024 年度河川技術シンポジウムのプログラム (ver. 20240619)

(6月20日～21日 土木学会, オンライン併用)

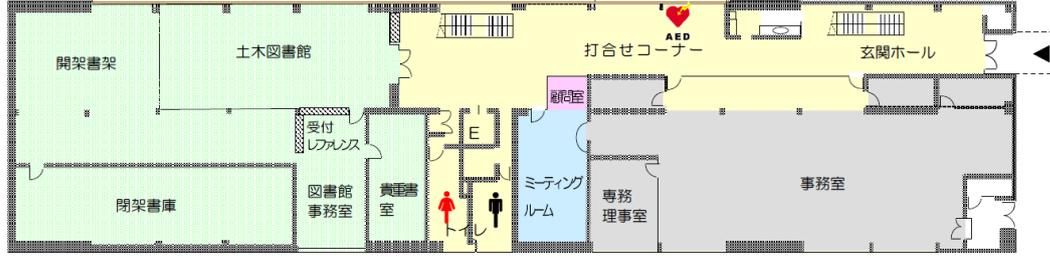
6月17日(月) ～28日(金)	発表論文の説明資料に対するオンラインディスカッション	
6月20日(木)	第1日目 (対面・オンライン併用)	開催場所:
8:50-	受付	講堂+
9:50-10:00	開会の挨拶 (河川部会部会長 内田 龍彦)	A,CD,EF 会場
10:00-10:30	河川技術論文賞 表彰式 (水工学委員長 泉 典洋)	
10:30-12:30	<u>特定課題オーガナイズドセッション1 (OS1)</u> 「水災害対策の成長戦略 ～気候変動に対して求められる河川技術～」 オーガナイザー: 山田 朋人, 萬 和明	講堂+ A,CD,EF 会場
12:30-13:30	昼食	
13:30-15:30	<u>特定課題オーガナイズドセッション2 (OS2)</u> 「発展した数値解析技術が河道計画や設計に組み込まれるために何が必要か？」 オーガナイザー: 堀江 克也, 瀬崎 智之, 田端 幸輔, 岩見 収二	講堂+ A,CD,EF 会場
15:30-	ポスター設置	
16:10-17:40	<u>ポスターセッション (PS) (対面のみ)</u>	講堂+
17:40-	ポスター撤去 (18:45 迄)	CD,EF 会場
18:00-	交流会	A 会場+控え室
6月21日(金)	第2日目 (対面・オンライン併用)	
9:00-10:40	<u>一般課題オーガナイズドセッション3 (OS3)</u> 「治水と環境の調和した河道管理のための河川技術と現場実装」 オーガナイザー: 原田 守啓, 武内 慶了, 中村 圭吾	講堂+ A,CD,EF 会場
10:50-12:30	<u>口頭発表 (セッション1)</u>	講堂+ A,CD,EF 会場
12:30-13:20	昼食	
13:20-15:20	<u>口頭発表 (セッション2)</u>	講堂+ A,CD,EF 会場
15:30-17:30	<u>口頭発表 (セッション3)</u>	講堂+ A,CD,EF 会場
17:40-18:00	閉会式 (河川部会副部会長 堀江 克也) 優秀発表者賞の発表	講堂+ A,CD,EF 会場

シンポジウムの会場(土木学会 2F)

2F



1F



土木会館内禁煙

- ハブリックスペース
- 会議室
- 図書館
- 会長室等
- 執務室

公益社団法人 土木学会

詳細プログラム

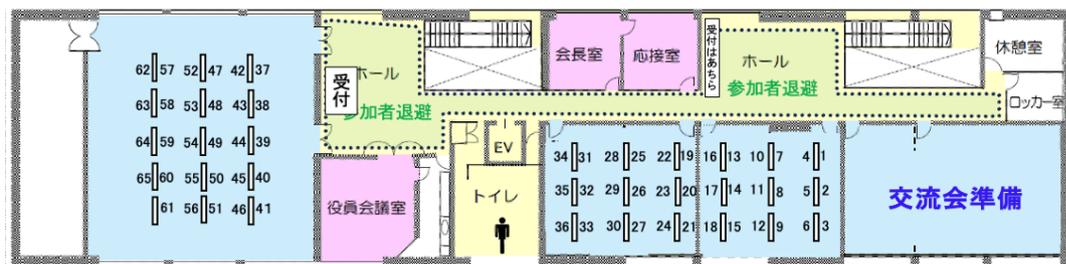
一日目 (6月20日(木))

開始	終了	講堂	A会場	CD会場	EF会場
9:50	10:00	メイン会場 開会の挨拶 司会(内田)	サブ会場	サブ会場	サブ会場
10:00	10:30	メイン会場 河川技術論文賞 表彰式 司会(瀬崎)			
10:30	12:30	OS1(メイン会場)	OS1(サブ会場)	OS1(サブ会場)	OS1(サブ会場)
12:30	13:30	昼食			
13:30	15:30	OS2(メイン会場)	OS2(サブ会場)	OS2(サブ会場)	OS2(サブ会場)
15:30	16:10	休憩(ポスター設置)			
16:10	17:40	PS 奇数:16:10~16:50 偶数:17:00~17:40	交流会(AB会議室)	PS 奇数:16:10~16:50 偶数:17:00~17:40	PS 奇数:16:10~16:50 偶数:17:00~17:40
17:40	18:00	ポスター撤去		ポスター撤去	
18:00	20:30				

二日目 (6月21日(金))

開始	終了	講堂	A会場	CD会場	EF会場
9:00	10:40	OS3(メイン会場)	OS3(サブ会場)	OS3(サブ会場)	OS3(サブ会場)
10:40	10:50	休憩			
10:50	12:30	S1-1: 河道の維持管理 (座長: 溝口)	S1-2: ダムの計画と管理 (座長: 安達)	S1-3: 洪水・土砂氾濫, 土砂制御(座長: 西口)	S1-4: 河川堤防・護岸 (座長: 田端)
12:30	13:20	昼食			
13:20	15:20	S2-1: 河川計画, 超過洪水, 洪水リスク(座長: 碓)	S2-2: 観測技術・計測技術・リモートセンシング (座長: 山田)	S2-3: 降雨流出・洪水・氾濫予測, 避難(座長: 川池)	S2-4: 河川堤防・護岸 (座長: 宇都)
15:20	15:30	休憩			
15:30	17:30	S3-1: 河川のDX, ビッグデータ分析, AI(座長: 椿)	S3-2: 流域治水, 上下流問題, 流域対策, 水循環, 地下水(座長: 鶴田)	S3-3: 河川環境・河川生態 (座長: 舂田)	S3-4: 河川構造物・局所流・局所洗掘(座長: 太田)
17:30	17:40	休憩			
17:40	18:00	メイン会場 閉会式 司会(堀江)	サブ会場	サブ会場	サブ会場

PSのポスター配置



ポスターセッション(6/20(木) 16:10~17:40)のプログラム

ポスターNo.	タイトル	発表者	ポスター発表のみ	ページ番号
1	西之谷ダムの貯水池地形の変遷と土砂管理手法に関する考察	中村亮太		125
2	河川における航空レーザ測深データを用いた水面標高の推定手法の提案	岡井陽平	○	617
3	1959年伊勢湾台風による海岸・河川堤防の決壊とその復旧過程の分析	田代喬	○	623
4	3DVR技術を活用した中小河川における洪水ハザードマップの高度化	福丸大智		629
5	ALBデータを活用した水面モデル作成と水理量推定による瀬淵判定手法の検討	寺島大貴	○	555
6	深層学習を用いた流出解析の技術動向およびモデル構築手順のレビュー	一言正之		641
7	停滞水域における地形変化が窪地の水質に及ぼす影響	小澤俊介	○	5
8	ペーン工による水力発電用取水口の土砂流入制御に関する実験	太田一行		101
9	遊砂地による土砂・洪水氾濫対策と流木の影響に関する実験的研究	石倉美佳子		329
10	令和5年6月における敷地川の再決壊氾濫被害の実態に関する報告	松本健作	○	161
11	汽水域の環境DNA分析における潮汐変化と検出魚種の関係性の検討	釣健司	○	11
12	実大模型実験による二重式鋼矢板構造を有する堤防の越水破壊挙動の検討	河野努	○	167
13	越水破壊事例からみる河道特性等が破堤口幅に及ぼす影響	島田友典	○	173
14	環境DNAを用いた仔アユ流量把握に関する基礎的検討	平田真二	○	17
15	気候変動による非超過確率1/10の過水流量の発生頻度の変化の計算	西村宗倫	○	363
16	気候変動による計画規模降雨のピーク流量増加と降雨波形変化の関係 -茨城県内主要河川を対象として-	阿部紫織	○	369
17	河川整備における最低便益の最適化のための基本的な考え方 - B/Cから最適停止問題としてのB-Cへ -	山田正		381
18	環境DNA分析とUAVを併用した河川沈水植物の定量手法の開発	宮園誠二		35
19	淀川河口干潟においてシジミの生産性を高めるための土砂供給シナリオ	西村昂輝		41
20	円山川流域における超過洪水時リスク軽減のための氾濫誘導適地の評価	大西左海		495
21	都市部における将来予測降雨データの活用に向けた降雨の時空間解像度と浸水特性の関係性	米田駿星	○	387
22	最大規模豪雨の生起リスク評価手法の提案	清水啓太	○	393
23	扇状地河川における礫列構造への人為改変の影響と流域個性の検討	唐沢和輝	○	281
24	深層学習を用いた流域網羅的な魚類環境DNA濃度予測モデルの開発	滝山路人		59
25	表層崩壊発生予測のための地下水特性に関する研究	梶昭仁	○	447
26	河岸侵食に及ぼす地形・洪水流の影響	傳甫潤也	○	287
27	河床砂礫移動がある土丹露頭河川における河道保全と安定化について	船橋昇治		293
28	堤体材料および基礎材料が堤防決壊に与える影響	神原祐乃	○	197
29	流域治水対策の検討・推進プロセスに関する事例分析	鶴田舞	○	513
30	河川堤防の変状と浸透による決壊との関係を判断するF1図及びE1図	石原雅規		209
31	斐伊川の降雨流出・洪水流・土砂移動の一体解析法の開発と流域治水に向けた活用	小谷哲也		453
32	国土交通省直轄事業における平面二次元解析の適用事例調査に基づいた河道計画、河道設計手法改善の課題	田端幸輔	○	83
33	筆ボリゴンを活用した田んぼダムの効果評価	土方基由	○	525
34	石礫床河川の砂州掘削後の河床変動予測における平面二次元計算の活用方法	北野陽資	○	113
35	降雨-土砂・流木流出モデルの特性 -土砂粒度分布と流木の時空間変化に着目して-	原田大輔		335
36	流域治水検討に適用するためのRRIモデルのパラメータ設定手法	福井治	○	531
37	本川水位の変動が支流流域の土砂・洪水氾濫に与える影響に関する一考察	原田昭臣		341
38	河川堤防でのミュウ粒子探査における観測の時空間的な制限が解析結果に及ぼす影響の分析	並河奎伍	○	567
39	動的モード分解を用いた超高速氾濫解析手法の提案	小山直紀		459
40	堤内地の漏水・噴砂動態と損傷に及ぼす透水性基礎地盤の層構造の影響	大桑有美	○	215
41	洪水前後の河道三次元地形データを用いた今後の河道管理手法の提案	秋田麗子		299
42	中小蛇行河川における氾濫戻り流れが対岸の河道内流況に与える影響に関する基礎的研究	高橋瑞貴	○	89
43	直線水路における交互砂州の水路の蛇行化に及ぼす比高の影響に関する数値実験	油川曜佑	○	305
44	超過洪水流の時空間三次元エネルギー分布に基づく河道計画・設計法	福岡捷二		411
45	河川表面流計測における風が波紋に及ぼす影響の評価	吉村英人		573
46	三次元点群データを用いた平面二次元解析による流下能力評価と河道管理手法の検討	河崎昇司	○	311
47	未固結の軟岩層を有する無加川流域における土砂輸送の実態把握	清家拓哉	○	119
48	河床変動解析モデルを応用した河道維持管理に資する仮想着色砂モデルの開発	吉武央気	○	317
49	高水敷の横断勾配と低水路際植生の密生度が水平渦の発生と高水敷への土砂堆積に与える影響	久澄伸太郎		323
50	機械学習とUAV空撮画像を用いたハビタット分類手法の提案	鈴木準平	○	579
51	平成16年信濃川洪水による五十嵐川の内岸堤防、内岸高水敷被災機構の検討	佐藤海輝		95
52	地質の違いが流域からの土砂流出量に及ぼす影響の比較 -土砂災害2地域の深成岩類と変成岩類における解析事例-	秋田寛己	○	347
53	山体の岩盤内地下水位の長期変動と流域の降雨流出特性	小谷隼人		543
54	Bi-LSTMを用いた都市中小河川の洪水流出予測	高木桃子	○	471
55	洪水時の非避難行動及び周囲の変状が累積避難開始人数分布に与える影響の動力学的考察	武内慶子	○	477
56	水災害リスクコミュニケーションの取組に関する一提案	高田昇一		549
57	大津津分水路新第二床固の段階施工計画の数値解析技術(Q3D-FEBS)による改善	竹村吉晴		263
58	河川堤防裏面浅層部に埋設した破砕貝殻層の侵食抑制効果と覆土層修復に伴う雨水浸透抑制機能回復に関する実験的研究	神澤美優		227
59	耳川水系ダム通砂によるアユ産卵環境への効果の推定	井原高志		71
60	越水時の堤防浸食プロセスに及ぼす堤体土質の影響に関する遠心模型実験	鬼丸颯人	○	239
61	UAV航空写真を用いた機械学習による干潟底質判別	伊豫岡宏樹		583
62	地理情報に基づく鉄道路線の降雨被害危険度評価に関する研究	榑涼太	○	417
63	解析雨量を用いて抽出した日本域の線状降水帯を伴う災害事例の経年的および地理的な特徴	大屋祐太	○	483
64	ダム低水管理における長時間アンサンブル予測の適用検討	田村和則		149
65	根固めブロックの群体系効果に関する水理実験について	松尾峰樹	○	245

口頭発表 (6/21(金) 10:50~17:30)のプログラム

セッション1 (6月21(金) 10:50~12:30)

発表者	発表形式	ページ番号
S1-1: 河道の維持管理 (座長: 溝口)		
河床砂礫移動がある土丹露頭河川における河道保全と安定化について	船橋昇治	対面 293
洪水前後の河道三次元地形データを用いた今後の河道管理手法の提案	秋田麗子	対面 299
高水敷の横断勾配と低水路階植生の密生度が水平渦の発生と高水敷への土砂堆積に与える影響	久澄伸太郎	対面 323
表河川を対象としたアイスジャムによる水深上昇の推定手法	吉川泰弘	対面 375
杭列水刺による河川合流部における河床変動制御に関する研究	藤原大輝	オンライン 107
S1-2: ダムの計画と管理(座長: 安達)		
西之谷ダムの貯水池地形の変遷と土砂管理手法に関する考察	中村亮太	対面 125
長崎水害緊急ダム建設事業における浦上ダム再生の実施方法の検討	橋口茂	対面 137
ダム低水管理における長時間アンサンブル予測の適用検討	田村和則	オンライン 149
計測値の異常を自動で検知するためのハイブリッドフィルタの適用 —フィルダム浸透量を対象として—	陳翔	オンライン 131
アンサンブル降雨予測を利用した多目的ダム運用の最適化に関する研究	岡本悠希	オンライン 143
S1-3: 洪水・土砂氾濫、土砂制御(座長: 西口)		
ペーン工による水力発電用取水口の土砂流入制御に関する実験	太田一行	対面 101
遊砂地による土砂・洪水氾濫対策と流木の影響に関する実験的研究	石倉美佳子	対面 329
降雨-土砂・流木流出モデルの特性 —土砂粒度分布と流木の時空間変化に着目して—	原田大輔	対面 335
本川水位の変動が支流流域の土砂・洪水氾濫に与える影響に関する一考察	原田紹臣	対面 341
令和6年能登半島地震に伴い発生した津波の河川遡上	大川原大智	対面 601
S1-4: 河川堤防・護岸(座長: 田端)		
実規模堤防裏法面浅層部に敷設した破砕貝殻層の越水時侵食抑制効果に関する実験的研究	根本嵩也	対面 179
実物大越流実験での透気防水シート被覆工の耐侵食性効果の確認	藤城裕也	対面 203
河川堤防の変状と浸透による決壊との関係性を判断するFT図及びET図	石原雅規	対面 209
大規模河川堤防の河川水及び降雨の浸透特性に関する現地観測	佐古俊介	オンライン 155
河川堤防漏水に関する現場対策や実験事実と技術者間の認識差	諏訪義雄	オンライン 185

セッション2 (6月21(金) 13:20~15:20)

発表者	発表形式	ページ番号
S2-1: 河川計画、超過洪水、洪水リスク(座長: 錠)		
近年の豪雨災害における河川氾濫・被害状況を反映した洪水人的被害関数の構築	窪田利久	対面 357
河川整備における最低便益の最適化のための基本的な考え方 — B/Cから最適停止問題としてのB-Cへ —	山田正	対面 381
河川合流部における遊水効果保全について—雄物川・首瀬川合流部を題材として—	石川忠晴	対面 399
氾濫ブロック毎の想定破堤点に着目した氾濫解析結果の分析	原田守啓	対面 405
超過洪水流の時空間三次元エネルギー分布に基づく河道計画・設計法	福岡捷二	対面 411
斐伊川の降雨流出・洪水流・土砂移動の一体解析法の開発と流域治水に向けた活用	小谷哲也	対面 453
S2-2: 観測技術・計測技術・リモートセンシング (座長: 山田)		
UAV航空写真を用いた機械学習による干潟底質判別	伊豫岡宏樹	対面 583
環境DNA分析とUAVを併用した河川沈水植物の定量手法の開発	宮園誠二	対面 35
ADCP観測データを用いた表面流速の評価手法に関する基礎的研究	井上敬太	対面 595
河川表面流計測における風が波紋に及ぼす影響の評価	堀入由梧	オンライン 573
浸水センサの反応順序に着目した破堤・越水箇所の特定手法に関する研究	久保英二郎	オンライン 561
S2-3: 降雨流出・洪水・氾濫予測、避難(座長: 川池)		
大量アンサンブル気候データを活用した基準水位に基づくリードタイムの評価手法	鈴木章弘	対面 423
CLIMATE CHANGE EFFECT ON DISCHARGE AND LAKE LEVEL OF PASTIG-MARKINA RIVER AND LAGUNA LAKE BASIN USING DYNAMICALLY DOWNSCALED MRI-AGCM 3.2S GLOBAL CLIMATE MODEL OUTPUT IN A HYDROLOGICAL MODEL	Ballaran, Vicente Jr. G.	対面 429
降雨強度の空間分布情報を用いたニューラルネットワークによる河川出水予測	大野剛	対面 435
動的モード分解を用いた超高速氾濫解析手法の提案	小山直紀	対面 459
降水予測の誤差傾向を加味した予測水位評価の汎用性検討	飯村浩太郎	対面 465
山体の岩盤内地下水水位の長期変動と流域の降雨流出特性	小谷隼人	対面 543
S2-4: 河川堤防・護岸(座長: 宇都)		
実物大実験に基づく河川堤防における表面被覆型かご系構造物の耐越水性の検討	堀謙吾	対面 221
河川堤防裏法面浅層部に埋設した破砕貝殻層の侵食抑制効果と覆土層修復に伴う雨水浸透抑制機能回復に関する実験的研究	神澤美優	対面 227
三面張り堤防の不織布の有無が高水位作用時の堤防変状プロセスに与える影響に関する遠心模型実験	川尻峻三	対面 233
河川護岸の現況把握に対するICTおよび非破壊物理解析の適用性	小笠原明信	対面 191
UAVを用いた3次元データ取得による堤防の変状把握の精度調査	渡邊康玄	対面 589

セッション3 (6月21(金) 15:30~17:30)

発表者	発表形式	ページ番号
S3-1: 河川のDX、ビッグデータ分析、AI(座長: 椿)		
機械学習を用いた土石流氾濫域の推定に関する基礎的検討	江口翔紀	対面 605
TimesNetを用いた洪水予測精度の向上の検討	木村延明	対面 611
3DVR技術を活用した中小河川における洪水ハザードマップの高度化	福丸大智	対面 629
航空レーザ測深データを用いた河道内樹木の体積の算出手法の検討	樹月霞	対面 647
AIの信頼度評価に基づくダム流入量予測システムの構築	曾田康秀	対面 635
深層学習を用いた流出解析の技術動向およびモデル構築手順のレビュー	一言正之	対面 641
S3-2: 流域治水、上下流問題、流域対策、水循環、地下水(座長: 鶴田)		
大和川流域を対象にした気候変動下における流況・位況の変化と濁水頻度の考察	伊東拓未	対面 489
円山川流域における超過洪水時リスク軽減のための氾濫誘導適地の評価	大西左海	対面 495
水災害リスクコミュニケーションの取組に関する一提案	高田昇一	対面 549
簡易排水モデルをカップリングさせた平面二次元不定流解析を用いたバンコク都内の内水氾濫解析	川村勇斗	対面 441
雨水排水制御による屋上貯留方法の提案	山田彩加	オンライン 507
流域治水へ向けた雨庭の試行と流出抑制効果の検証	田浦扶充子	オンライン 537
S3-3: 河川環境・河川生態(座長: 舛田)		
淀川大堰魚道におけるアユの遡上状況と通過時間の推定	佐藤大生	対面 1
淀川河口干潟においてシジミの生産性を高めるための土砂供給シナリオ	西村昂輝	対面 41
深層学習を用いた流域網羅的な魚類環境DNA濃度予測モデルの開発	滝山路人	対面 59
住民参加型川づくり実施区間における年齢層別みた親水利用の特徴と環境要因	新田将之	オンライン 65
開水路側岸に設置した植生の水没・非水没状態および間隔がオイカワの避難・休憩特性に及ぼす影響	鬼束幸樹	オンライン 77
天竜川における時間的・空間的な生息場履歴と底生無脊椎動物の応答に関する研究	兵藤誠	オンライン 23
S3-4: 河川構造物・局所流・局所洗掘(座長: 太田)		
中規模出水中の洗掘により被災した橋脚周辺の流況評価	竹崎泰詠	対面 251
ペーン工を用いた橋脚の局所洗掘対策工に関する研究	大本照憲	対面 257
大河津分水路新第二床目の段階施工計画の数値解析技術(Q3D-FEBS)による改善	竹村吉晴	対面 263
一級水系白川の馬場橋における部分可動堰が水位および流速場に与える影響	大本照憲	対面 269
平成16年信濃川洪水による五十嵐川の内岸堤防、内岸高水敷被災機構の検討	佐藤海輝	対面 95
アイスハーバー型魚道の水面変動抑制方法の提案	柘本拓	対面 29

■ オーガナイズドセッション1 (OS1) 6月20日(木) 10:30~12:30

水災害対策の成長戦略～気候変動に対して求められる河川技術～

オーガナイザー: 山田 朋人、萬 和明

頻発する水災害に対して長期的な視点に立った対策を講じるためには、将来を見据えたバックキャストの考え方に基づく水災害対策、それに合わせた地域の将来像を描くことが重要である。そのためには、気候変動下における外力評価からリスク評価、その情報を基にした防災行動のあり方、治水・利水施設の高度化、さらには、施策実行時の経済効果等のこれまで培ってきた知識や技術を集約することが重要である。このことが、地域の発展・成長、ひいては国土強靱化に繋がり、河川分野から社会に対して貢献を果たすことになる。

そこで、OS1 ではこれらの観点について広く議論するために、池内幸司氏（河川情報センター）、角哲也氏（京都大学）による基調講演、及び投稿論文から3名の研究発表をいただく。その後、全体討議の中で皆様と今後の水災害対策並びに河川を中心とした地域の将来像のあり方について議論する。

1. 趣旨説明

2. 基調講演

「個人・企業の防災行動のジブンゴト化に向けて」

池内 幸司(河川情報センター)

「流域治水とカーボンニュートラルに貢献する流域内の貯留施設の運用高度化」

角 哲也(京都大学)

3. 話題提供

「気候変動による非超過確率 1/10 の渇水流量の発生頻度の変化の計算 ～今後の政策や調査研究の深化・加速化に向けて～」

西村 宗倫(国土技術政策総合研究所)

「気候変動による計画規模降雨のピーク流量増加と降雨波形変化の関係 -茨城県内主要河川を対象として-」

阿部 紫織(三井共同建設コンサルタント)

「河川整備における最低便益の最適化のための基本的な考え方 -B/C から最適停止問題としてのB-C へ-」

山田 正(中央大学研究開発機構)

4. 全体討論

司会：山田 朋人、萬 和明

パネリスト：池内 幸司、角 哲也、西村 宗倫、阿部 紫織、山田 正

■ オーガナイズドセッション2 (OS2) 6月20日(木) 13:30~15:30

発展した数値解析技術が河道計画や設計に組み込まれるために何が必要か？

オーガナイザー: 堀江 克也、岩見 修二、田端 幸輔、瀬崎 智之

2023年 OS3 で問題提起された標記課題について、投稿論文等をもとに産学官の立場から多面的な意見をいただき、建設的な議論を行う。

1. 趣旨説明

2. 話題提供

「直轄事業の2D, Q3D等の適用実態と課題」

田端 幸輔(国土技術政策総合研究所)

「石礫床河川の砂州掘削後の河床変動予測における平面二次元計算の活用方法」

原田 守啓(岐阜大学)

「実務の視点から見た数値解析技術導入における課題と今後の展望」

中村 謙一(建設コンサルタント協会河川計画専門委員会 委員長)

「準三次元解析による河道設計の高度化～大河津分水路改修事業を例に～」

竹村 吉晴(中央大学研究開発機構)

「豪雨災害多発時代の流域治水へのパラダイムシフトとその実装化に対応した河川技術のパラダイムシフトに向けて」

福岡 捷二(中央大学研究開発機構)

3. 全体討論

司会: 堀江 克也

パネリスト: 田端 幸輔、原田 守啓、中村 謙一、竹村 吉晴、福岡 捷二、瀬崎 智之、
岩見 収二

■ オーガナイズドセッション3 (OS3) 6月21日(金) 9:00~10:40

治水と環境の調和した河道管理のための河川技術と現場実装

オーガナイザー: 原田 守啓、武内慶了、中村圭吾

近年の河川技術シンポジウムでは、治水と環境の調和した河道管理に向けた研究開発の成果や現場実践について多くの報告がなされており、河道設計における新技術の実装や河積管理のための新たなワークフローの試行が始まっています。一方で、河川環境目標の設定やその達成に向けた河道管理のあり方については、いまだ課題が多いとの指摘もあります。

OS3では、河川技術論文集掲載論文から4編の著者より話題提供をいただきながら、治水と環境の調和した河道管理に向けた河川技術の現場実装の動向について最新の情報を共有し、課題への取り組みの方策について会場を交えて議論します。

1. 趣旨説明

2. 話題提供

「河道内植生動態モデルの課題と展望 - 生物多様性の予測・評価を行うための技術提案 -」

萱場 祐一 (名古屋工業大学)

「実用的に植生消長過程を考慮した平面二次元河床変動解析モデルの改良と効果検証」

松下 晃生 (パシフィックコンサルタンツ)

「点群データを用いた瀬・淵の定量的な抽出に向けた基礎的検討」

森本 洋一 (リバーフロント研究所)

「耳川水系ダム通砂によるアユ産卵環境への効果の推定」

井原 高志 (九州大学附属水産実験所)

3. 論点整理

4. 全体討論

司会: 武内 慶了

パネリスト: 萱場 祐一、松下 晃生、森本 洋一、井原 高志、中村 圭吾、原田 守啓